

会 報

静岡県技術士協会 S C E A Shizuoka Consuluting Engineers Association
事務局 久保嶋技術士事務所内 TEL 0545-34-0900 FAX 0545-34-0900

会長：木村芳正 専務：久保嶋 会計：齋 強志 会報担当：稲葉・田辺・大井
会計振込先：静岡銀行沼津支店普通1162090 静岡県技術士協会 齋 強志

静岡県技術士協会 2004年度総会

2004年4月23日（金）14:30より クーポール会館（静岡市）



挨拶に立つ 木村新会長 2004.4/23/クーポール会館

例年になく早い春の訪れとともに、2004年度静岡県技術士協会総会が、4月23日（火）クーポール会館（静岡市紺屋町）にて開催されました。詳しい報告と議案書の要旨はページをあらためて紹介いたします。

今年は役員交代の年にあたるため、新旧役員が一堂に会し、来賓の諸先生とあわせて盛会のうちに議事が進行しました。閉会ののち、㈱パースクリエーション 代表取締役 青木邦章先生を講師にお招きしての記念講演。さらに懇親会まで時間を忘れる密度の濃いひとときとなりました。記念講演の要旨も別稿でご紹介します。

2004年度2005年度の2年間を務める新任の役員は、木村会長以下ベテランと若手がバランスよく会の運営にあたる旨の挨拶がありました。2004年度には、（社）日本技術士会・化学部会との合同行事の案件が、また2005年に予定されている当会創立40周年の記念行事など近年にない盛りだくさんの事業メニューがすでに予定されており、会の活性化をはかるまたとないチャンスということもできます。

これらの成否は、役員だけで達成できるものではなく、会員の積極的な参加とご協力がその基盤になることは言うまでもありません。

どうぞよろしくお願い申し上げます

守屋会長ほか中部地区選出の旧役員の皆様、2年間ご苦労様でした。

静岡県技術士協会2004年度総会

日時 2004年4月23日(金) 14時30分から19時00分
場所 (株)クーポール会館

次 第

		司会進行		専務理事	吉澤 淳
開会挨拶				副会長	木村芳正
会長挨拶				会長	守屋文二
来賓	社団法人日本技術士会	中部支部長			辻 喜礦様
	同上	愛知県技術士会代表幹事			柴田素伸様
	同上	岐阜県技術士会代表幹事			堀與志男様
	同上	三重県技術士会代表幹事			後藤睦男様
来賓祝辞	社団法人日本技術士会	中部支部長			辻 喜礦様
議 事	第1号議案	2003年度 事業報告		承認	
	第2号議案	2003年度 決算報告		承認	
	第3号議案	名誉会員推戴の件		承認	
	第4号議案	役員改選の件		承認	
役員交代	司会進行	新専務理事	久保嶋勝巳		
新会長挨拶				会長	木村芳正
議 事	第5号議案	2004年度 事業計画案		承認	
	第6号議案	2004年度 収支予算案		承認	
	第7号議案	その他		なし	
閉会の辞				副会長	神立 信
記念講演	「21世紀のビジネススタイルと日本の中小企業の行方」 Made in Japan から Made by Japan へ				
	株式会社 スペースクリエーション 代表取締役 青木邦章様				
懇親会	17時00分～19時00分				
	以上				

新役員名簿

2004・2005年度の新役員は以下のとおりで、原案どおり承認されました。

会 長	木村 芳正	(建設部門)
副 会 長	神立 信	(機械部門)
	吉澤 淳	(化学部門)
専務理事	久保嶋勝巳	(化学部門)
会計担当理事	齋 強志	(建設部門)
会報担当理事	稲葉 弘之	(総合技術監理部門・上下水道部門)
同	田辺美喜雄	(建設部門)
同	大井 寿彦	(応用理学部門)

以上です。 2年間よろしくお願ひいたします。
事務局および役員の連絡先などについて、巻末に一覧でご案内しますのでご参照ください。

会長挨拶

会長：守屋文二

皆さん今日は、お忙しい中多数のご出席いただき誠に有難うございます。
ご来賓の皆様遠路はるばる有難うございます。

2003年度の活動を振り返ってみますと、会員につきましては、03年度は新たに8名の方を新入会員としてお迎えできました。非常にうれしく思っております。ただ辞められた会員の方も居られますので、総数では変わらず残念に思っております。また例会につきましては、一昨年からCPDの対象にした関係から、出席の方が若干増えまして、これも喜ばしいことと思っております。先日支部の方から報告があったのですが、CPDの静岡県の登録申請者が、14名と非常に少ないことがちょっと意外に思いました。

CPDは技術士にとって責務で御座いますので、日本技術士会の会員である無しにかかわらず、是非登録して頂きますよう、この席をお借りいたしましてお願い申し上げます。
昨年は久し振りに中部支部と共催で例会を開催いたしましたところ、多数ご参加いただきましてうれしく思います。このように会としても県内だけでなく、県外も含めて幅広い活動が有意義ではないかと思えます。

2004年度も盛り沢山の活動を用意致しております。どうか皆様方の積極的なご参加をお願いして、私の挨拶と致します。本日は有難うございました。

支部長挨拶

日本技術士会中部支部支部長：辻 喜礦様

ご紹介いただきました、中部支部昨年5月の総会で選出されまして支部長となりました 辻と申します。今日お招きいただき有難うございます。

技術士法が改正されまして、この数年はかなり混乱しておりましたし、技術士会のほうでもかなり問題が片付かずに、停滞気味だったんですが、昨年度の会長交代以来、かなり活発な活動がなされております。

一つにはビジョンを作ると言うことで、総会の6月までに技術士会のビジョンを作ろうと言うことで討議をされております。昨年の試験の状況を見ますと、一次試験は18000人くらい合格しまして突如倍増になりましたが、こういう状況になりますと技術士会もかなりいろんな様変わりな状況になってきてまして、会の運営も非常に難しくなっております。

これからも会員増強と皆様のご協力により会の運営がうまくいくように努力したいと思っております。

ちなみに中部支部の3月末の会員は、1012人だったと思いますが、1000名を越えました、総会の成立は510名位になりますので、皆様のご参加を心からお願い致します。

支部の総会は5月22日になりまして、土曜日で、名古屋国際会議場であります。記念講演

は、岡沢章様、大同大学の学長をされておられますが、併せて日本の宇宙開発のチームリーダー、責任者でありまして、そこでNASAの危機管理の状況と企業倫理についてバージョンと言うことでお話をいただきますので、皆様ふるってご参加いただきたいと思います。なかなか聞けないお話でありますし、岡沢先生は70を越えても日本で最高齢の宇宙士になろうと、日夜体力を鍛えておられる方で、ちょっと異質な方ですがお話もなかなか面白いと思えますので宜しく申し上げます。

今日は総会が成立し、活発な議論が行われると言うことで、心からお喜び申し上げると同時に皆様の技術士の活動に是非協力していただき、若い皆さんが参加しやすいような会にさせていただきたく、お願いいたします。お祝いの挨拶に代えさせていただきます。本日は有難うございました。



先ほどの4号議案についてご承認いただきまして私が会長、静岡県技術士協会の代表として、その任を仰せつかりました。

協会の行事、これからいろいろあるのですが、従来どうりの行事を行うだけではありませんで、来年の10月には当協会設立40周年記念の行事が御座います。この任の重さに私もそれをかみ締めている次第では御座いますが会員の皆様、理事役員の方々、また顧問の皆様にも、お知恵とお力を是非お借りしたいと思っております。そしてそれらの役目を果たしたく思っております。

日本技術士会中部支部からは毎年いろいろご援助頂いておりますが、今後も相変わりがせぬようお願いしたいと思います。

簡単ではございますが常任理事を代表いたしまして重ねて皆様のご支援ご協力をお願い致しまして私の挨拶といたします。

宜しくお願い致します。

【お知らせ】協会事務局移転の件

2004.5/14/専務理事

静岡県技術士協会 事務局を次のように移転いたします。

新・事務局	所在地	〒417-0826	富士市中里	257-1	久保嶋技術士事務所内
	電話	0545-34-0900	ファクシミリ	0545-34-0900	

移転の経緯と今後の課題

先刻ご承知のとおり、当会の事務局は永らく(株)建設コンサルタントセンター社内に置かせて頂いておりました。旧会計理事の山本正男会員が前社長、旧会長の伊藤正美会員が現社長、現会長の木村芳正が役員を務めるなどの幸運と会社のご好意に甘えさせて頂いたものであります。ところが、諸般の事情によりこれ以上会社にご迷惑をおかけできない状況となり、あらたな事務局を探す放浪の旅がはじまりました。

一方、いつまでも事務局の定まらない状態では会の運営に支障がございますので、暫定的に専務理事の自宅を事務局といたした次第です。今後、このような状況が続きますと2年ごとに事務局が移動することとなり、対外的にも芳しいこととは思われません。また費用や対応の負担をどうするかなどを含めた“事務局問題”につきましては、少々時間をかけて議論し適切な結論を得たいと存じます。

ご意見・ご提案などありましたら標記の事務局までご一報ください。

2004年度定時總會議案書 (抄録)

第1号議案 2003年度事業報告

1 会員の状況

(1) 会員数

2004年3月末現在 会員数
個人会員166名 賛助会員17社 計183

年度内入会者8名、
年度内退会者14(11名、3社)

2003年3月末現在 会員数
個人会員169名 賛助会員20社 計189

(2) 入会者 ; 8名

大橋郁夫、影山精一、木村敏明、小菅久平、
高橋洋之介、仁科憲、水上友人、吉田建彦

(3) 退会者 ; 8名

井上博正、北上博見、久保田昌男、花岡志郎、渡
辺豊徳、大森政義、大竹 昭、大野英也、平出岳登
志、森本敏明、吉永勝也

(株)浜岡測量設計、(有)旭技術事務所、(株)建設
基礎調査設計事務所

(4) 休会者 ; 7名

伊藤 光雄、大古田 忠雄、大沼 俊一、加納照彦、
竹花 健、山本 秀洋、渡辺良和、

2 総会

日時 2003年4月18日(金)14:30 ~

出席者 43名(委任状;48名+13社)

過半数94

記念講演:『21世紀は環境の世紀』

講師:

東海ハルブ株式会社 取締役会長 原 健二 先生

3 例会 (CPDカウント)

(1) 2003年度第1回例会

日時 2003年7月11日 14:00 ~

内容 日本食品加工(株)富士工場見学

(2) 2003年度第2回例会

日時 2003年10月25日 14:00 ~

内容 静岡県地震防災センター見学

(3) 2003年度第3回例会

(会員講師による技術研修会)

日時 2003年12月11日 14:00 ~

内容

第1講「風力発電の近況」松本文雄(情報工学)

第2講「富士山一雪氷の世界から見る」安間荘(林
業・応用理学)

第3講「(財)しずおか産業創造機構の紹介と技術
士への期待」石野達佳(機械)

(4) 2003年度第4回例会

(会員講師による技術研修会)

日時 2004年2月21日 14:00 ~

内容

第1講「太陽熱利用技術の現状と課題」清水博之
(機械)

第2講「風力発電と環境問題」松本文雄(情報工
学)

第3講「自動車における資源・環境技術」神立 信
(機械)

4 常任理事会

(1) 第1回常任理事会

日時 2003年6月6日(金) 13:00 ~

(2) 第2回常任理事会

日時 2003年7月11日(金) 12:00 ~

(3) 第3回常任理事会

日時 2003年10月11日(土) 13:00 ~

(4) 第4回常任理事会

日時 2003年12月11日(土) 12:00 ~

(5) 第5回常任理事会

日時 2004年3月3日(水) 13:00 ~

5 理事会役員会

日時 2004年4月3日(土) 12:00 ~

6 地区ブロック会合

東部地区

日時 2004年1月24日(土) 18:00 ~

沼津市 沼津軒

参加人数 11名

中部地区

日時 2004年2月14日(土) 17:00 ~

静岡市 プケ東海静岡

参加人数 10名

西部地区

日時 2004年1月17日(土) 16:00 ~

浜松市 辦松

参加人数 18名

7 会報の発行

第103号 2003年6月15日

第104号 2003年 9月15日

第105号 2003年12月15日

第106号 2004年 2月15日

8 事業

(1) 地方公共団体や協会等への当協会の認識度向上活動

(2) 2002,2003年度版会員追加名簿発行

9 日本技術士会中部支部との交流

(1) 役員会:名古屋市

4月26日、ほか計6回

守屋会長、木村副会長 出席

(2) 中部支部総会:名古屋市

5月17日

守屋会長 出席

(3) 中部支部例会:

7月26日、ほか計5回

守屋会長 木村副会長出席

(4) 技術士試験合格者説明会および祝賀会

3月27日 守屋会長 出席

(5) 産官学と技術士との交流セミナー

10月21日 守屋会長 出席

(6) その他

事業委員会、広報委員会の開催

「技術士中部」への投稿、行事予定および活動状況を報告(吉澤専務理事)

第2号議案 2003年度決算報告

表は割愛

- 会計監査報告

2003年度の決算について諸帳簿および関係書類を精査の結果、正確かつ適正であることを認める。

2004年4月3日

会計監事 小川 誠慈 印

松尾 博孝 印

第3号議案 名誉会員推戴の件

以下の2名の会員を規約第6条の規定により、名誉会員として推戴する件について、承認を得たい。

(技術士部門順)

渡邊 三義 会員(機械部門1928年7月4日生)

本間 雄二郎 会員(経営工学部門1928年10月6日生)

名誉会員(技術士部門順)(21名)

乾 昇(機械) 加藤 幸男(機械)

梅原 弘二郎(機械) 平山 傳治(機械)

鷺山 秀彦(電気・電子) 金沢 徹(化学)

金子 信一(化学) 磯部 俊夫(金属)

芦沢 五一(建設) 久米 松太郎(建設)

高野 克巳(建設) 山田 康一(建設)

横山 淳(建設) 吉田 章(建設)

絹村 薫(水道) 蓮池 昇(水道)

漆畑 八三(水道) 松原 繁左右(農業)

伊藤 寿洋(経営工学) 高柳 剛(経営工学)

竹花 健(経営工学)

第4号議案 役員改選の件

時期2004年・2005年度役員を次のとおり推薦し、承認を求める。

会長、副会長、常任理事は前掲のとおり、(割愛)

幹事 松尾 博孝、藤田 協右

理事 (順不動)

[東部] 安間 荘、漆畑 八三、櫻 賢三、

山本 正男、北本 達治、小川 誠慈

[中部] 石川 正人、海野 泰一、金澤 啓悟、

片平 雅之、佐藤 仁一、柳澤 敏行、

森 稔夫、山之上 誠、高尾 和宏、

岡井 政彦

[西部] 斉藤 和夫、長島 滋孔、藤原 正臣、

松影 泰三、中田 洋輔、寄川 壽明、

田中 保広、吉澤 富士男

顧問 乾 昇、伊藤 和美、加藤 幸男、

金澤 徹、清水 康夫、蓮池 昇、

松本 文雄、渡邊 佐一郎、渡邊 三義、

守屋 文二

第5号議案 2004年度事業計画案(趣旨)

1 静岡県技術士協会の認識度の高揚ほか

(1) 会員増強を図る。

(2) 官庁、各種団体などへの広報。

(3) プロジェクト活動による「事案提起」。

(4) その他団体との連携模索。

2 事業の実施

(1) 総会の実施 2004年4月23日(金)14:30~

(2) 例会の開催

(3) 地区ブロックにおける自主活動

(4) 外部団体等からの業務委託や技術的相談/技術指導等の業務開拓。

(5) 部門別あるいはテーマ別の研究活動を活発化

(6) 公的委嘱者の組織化、実施機関への協力

(7) 日本技術士会中部支部との交流・連携

(8) 改定版会員名簿の発刊準備、連絡網の充実

(9) 新事業機軸構築プロジェクト(検討委員会型組織)の編成と活動指針の策定/研究。

3 役員会

常任理事会、理事・役員会、地区役員会を随時開催する。

4 会報の発行

年4回(6月、9月、12月、3月)

5 その他

第6号議案 2004年度 収支予算(案)

表は割愛

第7号議案 その他

以上、総会にて審議の上、原案どおり承認されました。長時間にわたりありがとうございました。

『21世紀のビジネススタイルと日本の中小企業の行方』

講師：(株)SP-スクレイション 代表取締役 青木邦章先生



講義要旨

A、日本の中小企業論

1、30年寿命説うではない。
しかし、変革が必要である。

2、世界経済の流れ

現在はアジアが活発である。特に、中国、インドに勢いがある。日本はどう進むべきか。その答えは中心にいるのは無理であるのは明らか、それゆえ補佐役になるか、悪ければ置き去りにされる。

日本の国際競争力は、1990年代前半は1位、2003年度では11位に落ちた。

3、日本経済の状況

近代の3つの転換事件 明治維新・第2次大戦敗戦・そして今である。現在の大企業は航空母艦として社員を動かす。この社員は従来の中

小企業（下請け）が担っていた。
よって、今の中小企業は従来の下請けでなくゲリラ的に動く必要がある。

4、20世紀の日本型産業構造

大企業の下請けでよかった。

5、21世紀の産業構造

従来の下請けは中国、東南アジアに取って代わられた。そこで中小企業は従前の大企業が行っていた開発～物流を大企業とともに、提案し、やって行く必要がでてきた。

6、物の価値

従前 QCD quality, cost, derively 現在 QCD+V 上にvalue(付加価値)を加える。

例、かさ 500円のジャンプ傘もあれば50,000円のブランド傘もある。イタリアのバイク会社DUCATIの部品はほとんど浜松市周辺企業群が生産し、イタリアで組み立てる。

ものの価値は売ることから、感動・喜びを売る時代となった。また、ハードからソフトへ、オペレーションから提案へ、プロダクトとシステムへ変わった。

7、中小企業のとるべき経営戦略

ソフトの企業：新商品・新事業の創出であり、そのためにはスマートは開発手法とスタッフが必要。ハードの企業：高付加価値商品の創出であり、そのためには最先端設備、生産技術者の育成が必要。

8、2.5次産業のすすめ

グローバルニッチ 専門性・特殊性を有し、技術力が高い企業はピンポイント作戦をとる。

ローカルサービス 痒いところに手が届く手法で、地域性も考慮し、地域限定ローラー作戦をとる。

B、新事業展開・新商品開発手法

商品開発とは、アイデアの創出・コンセプトの確立・マーケティングである。新商品開発のステップは、最終ユーザーが何を求めているか、それを見極めるのは自分で行き、細かな修正はどんどんすればよい。

C、IT活用

汎用ソフトを使い、社内オタクを活用する。HP・メールマガジンを利用する。

D、経営確認の進め方

1、自社の棚卸しをする。技術・ノウハウ・スキルを整理する。

2、蓄積してきた技術を整理する。

3、外・内的要因を整理して強い点、弱い点を整理する。

E、円滑な事業継承のために

事業継承(2代目、3代目への事業継承)を考える必要がある。

「最後に技術士に中小企業から望むこと」
中小企業から技術士に期待することは、産業界のパイロットとして、今後の企業の進むべき方向を指し示す水先案内人になってほしい。決して、分析家、評論家等の言い放し家にはなすべきでない。

新・役員を紹介します

2004.6/15/事務局

2004・2005年度 役員は次のとおりです。連絡先とあわせてご紹介します。

氏名	(部門)	tel&fax	e-mail (自 宅)
	現住所	(勤務先)	e-mail (勤務先)
木村 芳正	(建設部門)	055-973-0197 (tel&fax)	y-kimra@pop07.odn.ne.jp
	〒411-0038三島市西若町6-5		
	パストラルハイム三島吉番館412	木村技術士事務所	
神立 信	(機械部門)	053-436-3496 (tel)	kandatsu@pop16.odn.ne.jp
	〒433-8111浜松市葵西6丁目16-10	053-438-8170 (fax)	
		神立技術士事務所	
吉澤 淳	(化学部門)	054-246-6804 (tel)	atsu-yoshizawa@nifty.com
	〒420-0831静岡市水落町5-11	054-247-3123 (fax)	
		日本理化製紙(株) 0543-45-3411	
久保嶋 勝巳	(化学部門)	0545-34-0900 (tel)	
	〒417-0826富士市中里257-1	0545-34-0900 (fax)	
		久保嶋技術士事務所	
齋 強志	(上下水道部門)	055-979-6225 (tel)	
	〒419-0112田方郡函南町柏谷1282-17		
		(株)東海建設コンサルタント 055-931-0625	tsuyoshi@tokai-cc.co.jp
稲葉 弘之	(総合術監理・上下水道部門)	055-987-2118 (tel)	
	〒411-0943駿東郡長泉町下土狩509-58	055-987-2118 (fax)	
		稲葉技術士事務所	inabapp@ybb.ne.jp
田辺 美喜雄	(建設部門)	055-923-4058 (tel)	
	〒410-0059沼津市若葉町3-56		
		静岡コンサルタント(株) 055-977-8694	tanabe@shizuoka-con.co.jp
大井 寿彦	(応用理学部門)	055-924-3546 (tel)	
	〒410-0017沼津市高尾台12-10		
		(株)東日 055-924-5530	to-ooi@tohnichi-net.co.jp

《編集後記》

2004年度が名実ともにスタートしました。2005年までの2年間で役員一同張りきって会の発展のため、奮闘いたす決意です。

※7月度例会の予告
7月15日(木) 14:00より見学会
見学先は、木村鑄造(株)御前崎工場です。
最新の鑄造工程と制御技術をご覧ください。
ふるってご参加ください。

詳細は別紙の案内&申込み書のとおりです。

【会費納入のお願い】

会費納入がお済みでない方は、お早めにお振込み下さい。新・口座は次のとおりです。

静岡銀行 沼津支店 普通1162090
静岡県技術士協会 齋 強志

年会費は8,000円です。
振込み手数料等は各自でご負担いただきたいと思います。